

1円パチンコはブームから 時流へ進化している

20 February, 2008

(株)船井総合研究所 パチンコグループ 野尻 純平

こんにちは、船井総合研究所の野尻純平です。
今回は1円パチンコの最新事例と将来性についてお話させていただきます。
昨年のホール業界での話題といえば5号機問題と1円パチンコの出現ではないでしょうか。

私のご支援先ではほぼ導入しましたが、
まだまだ様子見というホールさんも多いように思います。
そこで私のご支援先での導入事例をご紹介します。

1円パチンコ専門店で台粗 4,000 円!?

人口 20 万人のとある地方都市のホールさんの事例です。
Aホールさんは設置台数 280 台 (P200 台)、パチンコ稼働 8,000 発の小規模店舗です。
近隣に大手チェーン店が数年前に 500 ~ 1,000 台で複数店舗進出してこれら
稼働を大きく落としていました。

そこで1円パチンコ専門店への転換を決断。
約 2 ヶ月をかけてリニューアルプランを練り、昨年秋にオープンしました。
オープン後の業績推移は以下の通りです。

機種名	07年9月 (オープン前)		07年10月 (オープン初月)	07年12月 (オープン3ヶ月)	08年1月 (オープン4ヶ月)
	台数	稼働/台粗	稼働/台粗	稼働/台粗	稼働/台粗
海沖繩MTA	40	6,000/1,800	33,000/1,600	38,000/3,200	42,000/3,500
仕事人	20	8,000/2,000	30,000/2,200	36,000/3,200	36,000/3,800
倅田くみ	10	12,000/2,600	34,000/2,000	34,000/3,500	32,000/4,000
セブン機バラ	70	6,000/2,200	26,000/2,400	30,000/4,000	36,000/4,200
ST機バラ	60	12,000/3,500	28,000/2,200	32,000/3,000	34,000/3,200
P平均	200	8,300/2,510	28,800/2,140	33,000/3,435	36,400/3,710

データからわかる通り、1円パチンコ専門店への転換から約4ヶ月で台粗1,200円アップ、月間P粗利で720万円アップしています。

オープンに伴う放出はというと、最初の一週間は台粗0円で走りましたが、その後は徐々に利益を取っています。

通常の4円貸しでのランドオープンの放出と比較すると放出予算がかなり低く抑えられています。

またオープン後4ヶ月で毎月稼働が3,000発ずつアップしていますのでそれに伴い台粗額も徐々にアップし08年1月の実績は3,710円です。

毎月じわじわと稼働が上がっていくのが、1円パチンコの特徴ですが、もっと驚きなのが機械代です。

1円パチンコを始めるまでは毎月15~20台の機械を購入していたのですが、**1円パチンコ専門店に転換してからの毎月の機械購入は5~10台**です。

1円パチンコ専門店で営業利益率10%を目指す！

ではオープンに伴いどれくらいの初期投資がかかったのでしょうか。

Aホールさんの例で見てみると、ユニットやPOSの設定変更で250万円・オープン時販促費用で200万円計430万円で1円パチンコ専門店へ転換されています。

次に通常営業のなかでどれくらいの利益が見込めるのかを考えてみましょう。

以下表をご覧ください。

やはり営業利益への貢献で大きいのは機械代です。

4円貸玉で設置比率の5%にあたる新台台数で稼働を維持出来るホールさんは少ないと思いますが、1円パチンコでしたら充分な機械回転率といえます。

このように1円パチンコ専門店は非常に営業利益を残しやすい営業形態であるのです。

科目	金額(万円)	備考
月間売上	6480	P200台/稼働36,000発/玉単価0.3円/営業日数30日で計算
月間粗利(a)	2160	粗利率33%(玉利0.1円)で計算
人件費	300	社員2人@40万円・アルバイト時間当3人時給1,200円で計算
水道光熱費	100	台当5,000円で計算
支払家賃	300	台当15,000円で計算
機械代	350	機械代35万円×10台で計算
販促費	150	チラシ30万円/回×4回・DM15万円/回×2回で計算
販管費(b)	1200	
営業利益(a)-(b)	960	

1円パチンコ専門店がこれから増えるワケ

いかに営業利益が残しやすい営業形態といっても
「大型店や繁盛店が1円パチンコを導入してきたら結局負けてしまうのでは？」
と思われる読者の方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

しかし1円パチンコ専門店の場合はそうなりません。
なぜなら大型店や繁盛店の場合は、ほとんどの導入パターンが部分導入です。
当然機械の導入は4円優先となり、1円パチンコの入替で後手を踏みます。

しかし専門店の場合、絶対的な台粗額3,000円さえクリアしていれば競合店より早く機械導入に踏み切ることが出来ます。

また台数規模の面でも部分導入と比較すると台数で優位に立つことが出来るのです。

この2点で1円パチンコ専門店は、専門店化するメリットを受けられるわけです。
1円パチンコに関しては賛否両論ありますが、
それは部分導入の難しさに焦点が行き過ぎた見方ということも出来ます。
この機会に一度1円パチンコ専門店について考えてみられてはいかがでしょうか。

先着3社限定！「1円パチンコ専門店 無料相談会」開催！

1円パチンコ専門店に関する悩み・質問解決いたします！
先着3社様に限り、下記日程で1社1時間の無料相談会を開催いたします。
ご希望の企業様は下記連絡先にお電話のうえご予約ください。
開催日時：2008年2月25日（月）13：00～16：00
開催場所：(株)船井総合研究所 大阪事務所（JR新大阪駅より地下鉄にて15分）
お問合せ：06 - 6377 - 4086 (株)船井総合研究所 ヤマモト・オンヅカ

緊急企画！「1円パチンコ専門店 立ち上げサポート支援」

1円パチンコ専門店オープンに関するすべてのお悩みを解決させていただきます！
支援内容：設置台数調査・機種構成ご提案・オープン時販促支援・利益計画の作成
費用概算：126万円（税込） ご支援期間3ヶ月・交通費・宿泊費込の金額
お申し込み・お問合せは下記にて受付させていただきます。
お問合せ：06 - 6377 - 4086 (株)船井総合研究所 ヤマモト・オンヅカ